



平成22年度指定 高指第116号

浦島 俊秀

【雅号】紫星 しせい

生年／昭和25年 指定技術名／銅器・仕上



うらしまたろう

浦島太郎

昔話でお馴染みの「浦島太郎」。髪やセンを巧みに用い人物は全て手仕事で仕上げられ、特に頭髪部分は丁寧な彫金の技により立体感を感じさせる。亀の甲羅、手、足、尻尾の皮膚、それらの裏側まで丹念に彫り上げられ、生命力あふれる造形を生んだ。仕上げ一筋に取り組み、繊細で精緻な仕事を得意とする作者の力量を感じさせる。

昭和60年代作

素材・技法／青銅・焼型鑄造

寸法／高さ17cm×幅41cm×奥行25cm

〔表彰・受賞歴〕

昭和50年 第2回高岡伝統工芸加工技術展最優秀賞
昭和53年 第5回高岡伝統工芸加工技術展最優秀賞
平成18年 伝統工芸士会功労者賞
平成19年 県伝統的工芸品展奨励賞
平成23年 高岡市伝統工芸産業技術保持者指定

〔経歴〕

昭和44年 内免勝二氏に師事し、銅器仕上技術を習得
平成12年 伝統工芸士認定
平成20年 高岡銅社会会長